京奈和自動車道(大和北道路)・西九条佐保線 都市計画(案)説明会の概要

対象地域	: 恋の窪2丁目自治会
日時	: H19年7月25日(水) 19:00~21:30
場所	: 三笠公民館西分館
出席者	: 87人

【主な質疑内容】

- 平面図のみでは、理解できない。CGも使用して説明会を開催すべきである。
 - 現段階でCGは作成していない。都計後、予算化した段階でCGを作成し、説明したいと考える。(県)
- CGは、予算化しなくても手作業でも出来る。予算化が必要というのは納得できない。
- 去年の説明会と説明は何ら変わらない。恋の窪2丁目に絞った話を聞きたい。前回の説明会の申し送り事項は、説明されないのか。
 - 都市計画の案の説明会であり、状況は昨年と同じである。去年の説明会に出席出来なかった方もいる為、再度説明会を開催している。(西九条佐保線の高架区間及び高架の高さを説明。)(県)
- 高架や地下を伴う都市計画案のルートはもう決まっているのか。
 - 意見書や説明会で頂いた意見を都市計画審議会に報告し、審議頂くこととしている。了解を得られれば、都市計画決定される。必要な整理を行い関係機関とも協議を進めており、本日示している都市計画案にて、手続きを進めていきたいと考えている。(県)
- 計画交通量は、何台と予測しているのか。
 - 1日あたり約26,000台と予測している。中央の高架を通行する交通と両側の側道を通行する交通は約半々である。(県)
- 1分あたり18台になり、非常に交通量が多くなるのではないのか。
 - H42年の日あたりの交通量予測を行い、幅員等の構造を決定している。(県)
- 昭和41年当時には、JR奈良駅付近連続立体交差事業の計画は無かった。都市計画の全体計画、整合性は無いのか。
 - 連続立体交差事業も含め、将来的な都市計画を考えた上で西九条佐保線は必要な道路と考えている。連続立体交差事業の区間は、当時の補助の採択基準から施工箇所を決めている。(県)
- 昭和41年に都市計画決定後、何十年も経っている。昭和41年当時にはこの付近は、田んぼであった。今の時代には、この計画はそぐわない。他の計画を立てるべきである。高架の壁が立ち上がる事となる。
 - 高架構造物の圧迫感については、事業を行う際、桁高を薄くできないか、下部工の形状を丸みを帯びたものに出来ないか等を検討し配慮して参りたい。最終、都市計画審議会に諮った上で、了解を得られれば、都市計画決定される。都市計画決定後、住民の皆様方の協力を頂き、測量や設計の段階において、今回説明出来なかったことも含めて説明したいと考える。(県)
- 次回説明会では詳しい資料を作成し、広い場所で説明願いたい。

- 地域へ説明に来るということは、この計画は、決定ありきで説明しているのか。西九条佐保線は、住宅街の中を通過しなくとも良いではないか。11軒が立ち退きのルートに入っており、引っ越ししなければならない。ルートを京奈和自動車道の上に乗って行けば良いではないか。ルート変更をして頂きたい。
- 西九条佐保線も大和北道路と同じく地下にすればよいのではないか。
- 現在は、振動も無い静かなところに西九条佐保線が通れば、毎日の生活に関わる。排気ガス等の影響も考えて計画しているのか。
 - 必要な整理を行い関係機関とも協議を進めており、本日示している都市計画案にて、手続きを進めていきたいと考えている。(県)
- 関係住民の賛否をとった上で意見書を審議会に報告することは可能か。
- 個人にて意見書を出すことは可能か。
 - 賛否を確認することは困難である。昨年縦覧期間中に法的に意見書を出す期間を設けていた。(県)
- 西九条佐保線の縦覧は、どのような方法で周知したのか。周知の方法が曖昧で分かりにくい。大和北道路に隠れて分かりにくく手続きを進めている。
 - 市民日より及び県都市計画課のホームページ、県公報に掲載した。(県)
- 意見書は、もう提出できないのか。
 - 意見書は、自治会または、個人の意見書でも良いので出来る限り早く県庁都市計画課まで郵送若しくは持参頂きたい。遅くとも年内には提出頂きたい。(県)
- 大和北道路は、騒音の問題は無いが、西九条佐保線は、生活圏を高架で通るため、大和北道路と西九条佐保線は、分けて都市計画審議会に諮るべきである。西九条佐保線は、計画に問題があるとして、審議会に報告して欲しい。
 - 大和北道路と西九条佐保線は、別の路線である。個々に都市計画審議会に諮ることになる。県から、説明会の意見も意見書とともにとりまとめて、都市計画審議会に諮る。(県)
- 都市計画審議会は、来年3月か。
 - 都市計画審議会は、春頃を予定している。(県)
- 西九条佐保線は、大和北道路と同じ手続きになるのか。
 - 全く同じではないが、最終、都市計画審議会に諮ることとなる。(県)
- 大和北道路は、地下何mを通るのか。
 - トンネルの深度は、地下にある木簡等を保全するため、地下水の影響等を検討した上で決定する必要があることから、専門家等からなる地下水検討委員会を設けて検討しており、正確な深度は決まっていない。なお、今後、大深度の未買収箇所、地上権を設定する箇所等について明確に示して行きたいと考えている。(国)
- この付近は、菩提川と佐保川が流れており、地盤も良くなく地盤沈下が心配である。
- 都市計画審議会に出す意見書を取りまとめた資料は、審議会に諮る前に確認できるのか。
 - 意見書の概要を取りまとめて都計審に報告した資料は、県ホームページに掲載している。また、説明会については記録しており、説明会での質疑応答の概要に

についても同様に県ホームページに掲載している。昨年の説明会の概要も既にホームページに掲載している。県としては、都市計画に関する主な意見については、抜け落ちることがないように適切に対応していると考えている。(県)

- 疑っているわけではないが、都計審に報告してからでは遅いため、事前に確認したい。

→ 手続きの問題があり、都市計画審議会の前に情報提供出来るか確認する。(県)

- 西九条佐保線は工事の段階では、交通事故にあう可能性もある。また、完成後、交通渋滞が起こるかもしれない。想定外の問題が色々起こり得る。また、立ち退きの人の気持ちを考えたことがあるのか。

→ 事業実施段階では、住民の皆様のご協力を頂けるように努めて参りたい。測量、設計等の各段階でこのような説明会を開催しご理解を得られるよう努めて参りたい。(県)

- 次回の説明会はいつするのか。即答して欲しい。3ヶ月後には開催して欲しい。

→ 3ヶ月後を目途に開催する。(県)
自治会長と相談させていただき、開催について県と調整する。(市)

- 自治会長を通すのか。地元でも意見が分かれている。

→ いずれにしても、自治会長を通じてお願いすることになる。(市)

- 今日の説明会の質問及び回答は頂けるのか。

→ 今日の説明会の概要は、情報提供する方向で考える。(県)

- 貴重な時間を割いて説明会に来ている。分かりやすい説明をして欲しい。

→ 現在は、1/2,500の航空写真を図化した図面である。予算化後、測量を行い、縮尺1/500で設計した上で詳細に説明させて頂きたい。現在は事業を実施する精度の図面ではない。都市計画決定後、速やかに事業に着手したいと考えている。(県)

- 都市計画審議会のメンバーは誰か。

→ 県都市計画課のホームページにて公開している。(県)

- 西九条佐保線の整備により、地元はどれだけ潤うのか。私たちは潤わない。

→ この付近は幹線道路が整備されていなく、迂回交通が地域に入ってきている状況にあり、このような状況を解消するため、大和北道路と併せて西九条佐保線を整備したい。(県)

- 騒音の予測は、どの位置での値か。予測箇所を明確にすべきである。

→ 予測は、官民境界にて予測している。(県)

- 環境影響評価は、誰が予測したものか。予測は正しいのか。責任の所在はどこか。

→ コンサルタントに委託して行っている。ただし、責任の所在は、県都市計画課にある。(県)

- 低周波というのは、何ヘルツのものをいうのか。dbで表示しているがHzではいくらか。

→ 低周波は、一般に人の耳には聞こえない音である。
現在、dbで表示している。Hzは音色でdbは音の大きさを表す。(県)

- 低周波は何Hzか明確に答えるべきである。
- 環境影響評価の予測はどのようにして行っているのか。予測値は曖昧だ。
 - 大気質の予測は、現況値に西九条佐保線の影響を上乗せして行っている。
騒音、低周波音は、計画交通量、構造条件から国のマニュアルの予測式により計算している。(県)
- 景観は、予測していないのか。
環境影響評価は、住民の意思を尊重したものとなっていない。
 - 景観については、事業実施時に桁の厚みや橋脚のデザインを検討し、CGで説明する。(県)
- 現況の騒音値等について、測定し説明すべきである。
- 西九条佐保線は、いつ完成するのか。
 - 完成時期は未だ決まっていない。都市計画決定後、速やかに事業着手したいと考える。(県)
- 菰川は泥が溜まっており、先に地元の環境整備をするべきではないか。
- 今回の説明会は、自治会でアンケートを行った結果、大和北道路、西九条佐保線の都市計画案により、環境への影響がどうなるのか情報を知らせて欲しいという意見が多かったことから、開催を奈良市に依頼した。
アンケートの結果、反対が17%、賛成が40%であった。民主主義においては多数決によると考えており、連合会、自治会として反対の意見を出すのは難しい。自治会と個々の住民とでは、意見の食い違いがある。